

ヨコハマ 3 R 夢プランの推進について

平成 27 年度の「ごみと資源の総量」については、21 年度に比べ 4 % 以上削減することを目標としています。

27 年度 4 月から 12 月までの「ごみと資源の総量」（速報値）は、約 94 万 7 千トンで、21 年度の同時期に比べ、約 3 万 5 千トン減少（▲3.6%）しました。

なお、家庭系の資源化量に含まれる資源集団回収量は、集計に 3 か月程度要するため、11 月、12 月分について推計値を使用しています。

【平成 27 年度 4 月～12 月のごみと資源の総量（速報値）】

【単位：トン】

		ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系			
			ごみ量	資源化量※ ¹		ごみ量	資源化量※ ²	
27年度		947, 020	672, 050	451, 670	220, 380	274, 970	236, 150	38, 820
21年度差		▲ 35, 464	▲ 46, 015	▲ 21, 282	▲ 24, 733	10, 551	▲ 10, 450	21, 001
		(▲3. 6%)	(▲6. 4%)	(▲4. 5%)	(▲10. 1%)	(4. 0%)	(▲4. 2%)	(117. 9%)
21年度 (基準年度)		982, 484	718, 065	472, 952	245, 113	264, 419	246, 600	17, 819

※1 家庭系の資源化量は、行政が回収した資源化量と資源集団回収量の合計です。

※2 事業系の資源化量は、学校給食残さの資源化量と事業者が生ごみやせん定枝を資源化した量の合計です。

※ () 内数値は、21年度との比を示しています。

※ 平成27年度（速報値）は、10トン未満四捨五入しています。

